

2018/4/23

## 第二回技能実習協議会説明資料

(協)日本シャツアパレル協会

(縫製業)

## ① 会員企業における技能実習の実施状況

- 受入企業数・・・6社、10工場
- 受入実習生人数・・・125名(ベトナム、ミャンマー、中国等)
- 監理団体数・・・6団体、受入企業すべて監理団体所属  
(監理団体の管理は厳しい。監理団体及びJITCOの調査が入っている。)

過去5年間で、送検・不正行為・監督指導を受けたものの件数  
該当なし。

## ② 具体的な問題事例の紹介

該当なし。

## ③ 他の参考となる好事例の紹介

一部の企業で、お花見・慰安旅行・忘年会などの実施。

## ④ 技能実習の適正な実施に係る課題

- 生活習慣の違い。日本語の修得に個人差がある。
- 技能実習生受入時、国によって能力の差がある。
- 技能実習後帰国、他の職種に移る場合もある。  
(日本語を勉強し、帰国後日系企業に就職)
- 現在の筆記試験問題が古く、文言を含め改定が必要である。

## ⑤ 技能実習の適正な実施に向けた今後の業界団体としての取組の提案

- 指導者育成。
- 技能実習生には、資格を修得させ5年の在留期間でスキルアップを図る。  
(従来は3年であり、技能が身についた頃、帰国される)
- この協議会の参加を受け、周知・徹底を図る。

## ⑥ その他、団体ごとに技能実習事業に関して特徴的なことの紹介

特になし。

(発注者側)

- ① 自主行動計画等に基づく取引適正化に向けた取組状況
  - 4月の理事会で議論、賛同することとした。
  - 今後、会員企業への周知・徹底を図る。
  
- ② 会員企業におけるサプライチェーンの管理状況
  - ドレスシャツにおける国内生産は5%~10%、海外生産は90%~95%であり、国内自社工場、海外合弁工場をもつ企業が多い。
  - 会員企業すべては把握できていない。
  
- ③ サプライチェーン全体における技能実習生の受入状況の把握状況
  - 会員企業すべては把握できていない。
  
- ④ 技能実習の適正な実施に係る課題
  - 会員企業の実態把握。
  
- ⑤ 技能実習の適正な実施に向けた今後の業界団体としての取組の提案
  - この協議会の参加を受け、周知・徹底を図る。

以上